

(その他) 矢作北中学校

## 2年 職場体験学習「十人十色～自分づくり, 夢づくり～」

4月～12月(40時間)

### 1 ねらい

- ① いろいろな職業を学んだり、職場体験活動をしたりすることで、身近な人の生きている姿や自分の生活を見つめ直すことができる。
- ② 生徒一人一人が今の自分に必要なことを具体的にとらえ、社会でどのように生きていくのかを自ら考えられるようにする。

### 2 実践の概要

#### (1) 職業調べ

4月、テーマ発表後、自分について考えていく必要性を訴え、「職場体験学習を自分自身の進路に生かそう」と呼びかけた。そこでまず、自分を見つめるためのエゴグラム学習をし、適性について考えた。そして、家族や親戚、身近な人にインタビューすることで、「働く意味」「仕事」「自分の将来」について考えるきっかけを図った。また、遠回りしても自分らしい仕事につくことの良さや、働き初めの苦労について知るため、ビデオ学習を行った。いろいろな職業について知ろうと図書室やパソコン室で調べる学習を通し、職場体験学習の意義を考えることができた。



座談会「ヨガインストラクター」

#### (2) 座談会

6月、実際に働くプロの仕事人の話を聞いてみたいという生徒の声を参考に、「温故知新～仕事人に学ぼう～」という地域の人や保護者から学ぶ機会を作った。美容師やスポーツ店の方など、11業種から生徒は2コースを選んで聞く。司会進行を生徒に任せ、主体的に職業について知ることができた。まとめからは、今後の自分の希望職種を考えるきっかけになったり、仕事に対する思いの必要性を感じたり、一人一人が働く希望を持てる座談会になった。7月にはこの体験を参考に、自分の体験したい事業所について希望調査を行

った。学級を解体し、それぞれの自分の夢につながる市内の職場を選ぶように助言した。受け入れ先については、生徒に調査させつつも、これまでのデータベースを元に紹介した。2～4人のグループになるように調節した。

#### (3) マナー講座

10月、そろそろ職場体験先が決定して、事前訪問の前に、「社会に出るにあたってのマナー講座」を開いた。講師は高橋恵理子先生で、あいさつ練習や電話の応対について具体的に教えていただいた。「身だしなみはおしゃれと違う」「報告・連絡・相談」を「ほうれんそう」というわかりやすい言葉で説明していただき、その後の活動で何度も繰り返して意識することができた。事前訪問では、第一印象で相手に好印象を抱かせるためには、どんな態度や話し方が必要なのかを生徒自身で「もっとこうした方がよい」などと考えることができた。

#### (4) 職場体験学習・職場体験学習の実施

事前訪問に向けての活動では、事業所の方と事務的な内容をきちんと打ち合わせをする力と自分の意欲ややる気を相手に伝えるための力を身につけさせたいと考えた。また、職場体験事前学習において生徒の意欲を高めるために、事前訪問の日時決を生徒本人が行った。

一日目はあいにくの雨であったが、早めに集合し、意欲的に参加しようという意欲が見られた。また、教師が訪問に行くと、熱心に作業していたり、笑顔で接客をしていたり、精一杯働く生徒の姿が見られた。一日ごとに簡単な反省用紙に記入し、活動を振り返ることができるようにした。

・平成21年11月17日(火)～19日(木)の3日間

・参加生徒 2年在籍 307名 場所 各事業所

1日の流れ	出発時間	8:00～9:00
	活動時間	9:00～15:00
	帰校時間	15:00～16:00

・主な受け入れ先(事業所)

ふたば幼稚園・中園保育園・さくらの里・サンクス・ローソン・スギ薬局・ガトータツミヤ  
卵小屋・原田書店・出雲殿・グランドティアラ・ライオン動物病院・東公園・フットジョグ  
スギスポーツ・マクドナルド・コメダ・三菱・ミクス・囲碁センターなど

#### (5) 学習のまとめ・職場体験活動のまとめ方と準備・・・11/24総学⑤⑥＝

反省用紙を見直しながら、まず職場の方にお礼の手紙を書いた。手紙の内容からは、事業所の方の働く姿から、苦労もあるがやりがいのある仕事だったと気づく生徒や将来の自分について考えるきっかけになった生徒の気持ちが表れていた。自分の言葉で感謝の気持ちを込めて書くことができた。

また、四つ切の画用紙に活動写真を貼り、座談会から職場体験学習までを振り返ってまとめを書いた。3学期には掲示をして発表する。また、将来の自分に宛てて手紙を書く活動を通して、継続して生徒の意欲を伸ばしていきたい。

### 3 成果と今後の課題

生徒の希望をできるだけかなえてあげたいという思いもあるが、やはり大規模校の活動には制限が多い。人数が多い故、職場体験活動の受け入れ先探しもかなりの労力を必要とする。定休日などで3日間活動できないグループは、地域の会社に見学させていただくことや同じ業種で別のお店を紹介していただくなどで対応した。学校側が校外へと広く活動の場を求める一方で、それを受け入れる場はあまり広がっていないのが現状である。受け入れてくださった「2年生になると職場体験だ」と、生徒はとても楽しみにしていて、事業所では、熱心に指導していただいた分、学んできたことも多くありがたかった。今後も生徒にとって価値のある活動になるように、生徒の活動に広がりをもたせられる教師の手立てをもちたい。



マナー講座「立ち振る舞いについて」



保育園での職場体験学習